

事業評価シート

事務事業名	青少年教育事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の 主要施策名	生涯学習講座の充実	事業コード	4322

事業の目的	さまざまな体験学習の機会を提供し、自ら考え行動する「生きる力」を育む。地域の方々を学校に派遣し、教育活動を支援するとともに異年齢交流を促進する。			
事業の内容	わくわくスクール、親子体験事業、学校支援地域本部事業の実施、開催			
事業の対象	地域住民及び町内の小中学生			
事業費	年度・区分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算
	金額	5,073 千円	1,876 千円	929 千円

事業の効果等	わくわくスクール(夏休み・春休み)では、地域の方々のご指導で様々な体験活動を実施できた。子供達の創造性、協調性を育む場ともなり、事業が定着してきている。親子のふれあいを目的とした「親子陶芸」や「親子料理」では一緒に作業をすることで、楽しさを共感できる場を提供できた。学校支援地域本部事業では地域の方々が学校の教育活動に参加し、子供達と交流を深める機会となった。また、参加した大人自身の生きがいづくりにも結びついた。
実績・成果等 (数値)	わくわくスクール参加者: 述べ196名、親子陶芸: 17組40名、親子料理: 大人7名、子供6名(祖母との参加もあった)

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	学校支援地域本部事業は、地域と学校の結びつきを再構築するきっかけとなり、子供達の豊かな人間性が育成されるとともに、地域の方々は自己実現を得ることができるなど効果があった。また、各講座時の事故マニュアルも作成し、対応を強化する必要がある。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり。
------	---	--------	-----------